



2020年度 エプソン情報科学専門学校 実行計画

学校長
印鑑省略

学校評価項目	<p>【学校創立の原点】 設立趣意書より抜粋 エプソン情報科学専門学校が全人的教育により、高度情報化社会をリードする中堅技術者の育成に傾注できるように努力していく覚悟である。</p> <p>設置趣意書より抜粋 また、単に、技術的に優れた人材の育成だけでなく、教養科目の時間をできるだけ多くとり、心と技術の調和のとれた、全人的教育を目標とする。</p>	<p>教育理念とは 三心：通いあう心、信じあう心、ひたむきな心 三共：共鳴、共感、共働（協働）の感性 三学：自学、究学、徹学の態度</p> <p>教育方針とは 1. 通いあう心、信じあう心、ひたむきな心の育成 1. 共鳴、共感、共働（協働）の感性の育成 1. 自学、究学、徹学の態度の育成</p>	<p>【長期ビジョン】 社会人基礎力と専門性を有し、社会になくてはならない人材を育成し続ける</p> <p>【中期基本方針（2018～2020）】 1. セイコーエプソンと密接に連携して、最新の実務知識、技術、技能を身につけられる実践的な教育を目指す。 2. 生き残りをかけた再編を、確かな実績によって足場固めとし、経営の自立、好転を目指す。</p>
---------------	---	--	--

分担	学校評価・項目	推進項目		具体的な推進計画内容	到達目標（期待される成果）
		No.	No.		
共通	④学修成果	1	退学者の削減	1 各部門で実施	目標：昨年実績以下 チャレンジ目標：退学者ゼロ
	⑧財務	2	経費削減・ムダの排除	1 各部門での徹底した合理化・効率化	予算目標の達成
	②学校運営	3	「職業実践専門課程」の定着化	1 各部門で実施	さらなる定着化の実施。
	②学校運営	4	学校評価の向上	1 各部門で実施	前年度評価点以上を目指す
	②学校運営⑥教育環境⑨法令等の遵守	5	遵法対応、安全衛生管理、学習環境含めた環境活動の強化	1 各部門で実施	昨年からの改善をはかる。問題を発生させない。
教務部	③教育活動	1	「5年後10年後に会社になくてはならない人材」を目指した育成	1 基礎学力を身に付けさせる ・学生のレベル差に対応できる理解度向上施策に取り組む ・自主学習を習慣化し定着させる	追試験件数前年度以下、A評定率前年度以上
		2	教える力の向上(どうやって身に付けさせるか)	1 自分の専門領域を広げる、深堀りする 2 教える力を磨く・鍛える	グループワークを充実し目標達成に役立つ計画力と協調性を身に付けさせる 情報システム科にロジカルシンキングの授業を新設し物事を論理的に伝える力を身に付けさせる
	③教育活動	1	2	1 独自の専門領域を広げる、深堀りする 2 教える力を磨く・鍛える	独自学習、通信教育、セミナー参加、資格取得等に1つ以上取り組む 非常勤講師および自身の授業評価(授業評価アンケートや面談)による実践状況把握と改善
		2	2	2 教える力を磨く・鍛える	常勤/非常勤、学科の枠を超えてお互いの授業を参観して授業方法に改善を加える 授業評価アンケートによる学生満足度を向上させる
(学務)	⑤学生支援	1	1	1 学科・学年を超えて親睦を図るための場を設定し、学生会主体の活動を支援する 2 ルール、マナーの重要性を授業、集会を通じて教えて実践させる	スポーツ祭、三心祭の準備から実施に至るまで全学生が満足し、達成感を得られる 校則の重大違反なし 授業以外のイベントにおける遅刻・違反欠席者を減らす
		2	2	2 学生の資格合格率の向上	1 奨励資格試験の合格率を向上させる 2 学生個人の能力に応じた資格取得を推進。更に上位資格(Bランク以上)への挑戦を促す
	④学修成果	1	1	1 校内ガイダンスの招待企業に加え、校内での会社説明会の実施を拡大。 (新規招致企業の開拓・企業との信頼関係強化) 2 セイコーエプソン人事部との連携によりエプソンファンを増やす。 より早い段階から自由応募検討中の学生の志望度を高め、受験者を増やす。 3 「自己分析」・「職種理解」を基礎に、書類作成や面接力を向上させる。 就活力をアップさせるのための授業、イベントの実施。 企業側の考え方を理解させ、就活に対し自信を持たせる。	就職内定率95%以上を確保する 卒業生ヒアリングに加え、内定を得た在校生の就活体験を共有できるイベントの実施 (就職活動のためのアドバイス、実態業務と現カリキュラムの比較)
入試セン	⑦学生の受け入れ状況	1	1	1 「エプソン特進クラス」「高い就職内定率」「全学科の職業実践専門課程を認定」を周知 2 ガイダンス参加の拡大	募集者数の向上 イベント参加者数の向上およびガイダンス参加者数の向上
		2	2	2	2
事務局	⑧財務	1	1	1 人件費を除く経費全般の削減	昨年度以上
		2	2	2 業務内容のマニュアル化拡大および業務の効率化	昨年度以上